



With Kids



海外に住む子どもたちの心の健康をサポートする臨床心理士の会

●●● Newsletter 30号 2024年 6月1日 ●●●

障害者差別解消法が改正されました。社会的障壁によって「障害」は生まれる（障害の社会モデル）という考えから、社会的障壁を取り除くのは社会の責務として、「不当な差別」を禁じ、すべての事業所に「合理的配慮の提供」が義務付けられました。

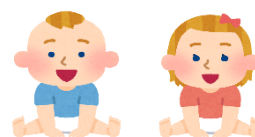
教育でいえば、どんな障害を持つ子ども学ぶ権利が保障され、一人ひとりのニーズを大切にしたい学び方を見つけていこうというものです。文字を書くのが苦手な子はタブレットで入力。大勢の前での発表が難しい子は、自宅でプレゼンテーションを録画して先生に見てもらおう。どんなやり方だったらできるだろうと考えることは、ちょっとすてきではないでしょうか。

子どもたちの学びが守られる未来、これからも一緒に考えたいと思います。(Y.A.)

一時帰国や本帰国される皆様へ～日本の学校の相談体制と特別支援～

この夏、一時帰国を予定されている方、もうすぐ本帰国される方、子どものことで気になることがある時、どこに相談すればいいのでしょうか。今回はそんな疑問に簡単ではありますがお答えします！

まず、お子様の年齢によってみていきましょう。(※地域によっては名称が異なる場合があります)



<乳幼児期>

・乳幼児健診

病院や保健センター等で実施。特に言葉や社会性の発達状況などは、日本で確認しておけると安心です。また子どもとの遊び方を学べたり、親子のつながり作りをしているところもあり、親としての育ちを支えてくれる場でもあります。

・子ども家庭支援センター/保育園/児童館

子育て全般にわたって気軽に相談ができます。海外で感じる子育ての不安を、日本の子育て観を共有できる方と相談できると、海外に戻った後も安心して子どもと過ごしやすいかもしれません。親が疲れた際に、子ども参加型のプログラムや、一時的に預かってくれるサービスを利用できると有難いです。

<小中高年代>

・市区町村の教育委員会

公立小中学校への通学をする際、最初に相談する窓口です。



・教育相談センター

小中高年代の子どもの学校や友人関係、不登校等について相談ができます。

・学校の先生方

生徒指導担当、教育相談担当、特別支援教育コーディネーター、また学年主任や管理職の先生など、相談内容によって担当者が決まっている場合が一般的です。

・保健センター/精神保健福祉センター

眠れない、イライラしやすい、スマホが手放せないなど、気がかりだけど病院を受診した方が良いか迷う場合や、思春期の相談ができます。

・学校のスクールカウンセラー/相談員

友人関係、不登校、いじめ等、学校での困りごとや、親としての関わり方などについて相談ができます。

・少年センター

SNS 等、危ないことに巻き込まれそうな心遣いがある際、子ども本人を含めて相談ができます。

次は学校で行っている特別支援と放課後に使える子育て支援サービスです。

<学校等の仕組み>

・特別支援学級

小学校・中学校に設置されている、スペシャルニーズがある児童生徒を対象にした少人数（上限：8人）の学級です。各児童生徒の教育的ニーズに合わせた指導を提供します。児童生徒は、特別支援学級に在籍し、学校によっては、通常学級の決まった授業に参加する”交流学級”が実施されます。

・通級指導教室(自治体によって、名前が異なります)

小学校・中学校・高等学校において、一部特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒を対象にした教室です。児童生徒は、通常学級に在籍しながら、通級指導の時間のみ通級指導教室に通います。

・学童・放課後デイサービス
子ども達（対象：小学生<学童>、スペシャルニーズ
がある小学生・中学生・高校生等<放課後デイサービ
ス>）が、放課後や休日に指導員の下、安全に過ごせ

る居場所です。自治体のみではなく民間が運営してい
る施設もあります。実施内容に決まりはなく多種多様
なため、実際に足を運ばれて、ご覧になり感じられて
検討されることをお勧めします。

<使える福祉機関>

・基幹相談支援センター（自治体によって、名前が異
なります）
障がいを持った方への地域における相談支援の総合
的な窓口です（現状、任意設置のため、設置されてい
ない自治体もあります）。各機関の連携を図る等、地域

の中核的機関であるため、様々な福祉サービス・関係
機関の生きた情報を得ています。海外在住時には馴染
みがない日本の福祉サービスについて、情報収集する
際に活用されると良いでしょう

帰国時のちょっとしたエピソード



年度途中で帰国した我が家は、ランドセル探しに四苦
八苦。店頭にあるランドセルは、次年度のための見本
であること（見るだけで買えない）を知りました！



テンカってなに？その地域特有の遊びがわからず、
事前に YouTube など調べ、ルールを覚えてから
登校しました



連絡帳はいつ出すの？
言葉にされない学校のルーティーンなどが、初めて日
本の学校に途中から通う場合わからない



り、ま、おけ…いわゆる若者言葉で、SNS で使われ
ているみたいだけど、初めは何のことかさっぱり
わからずどう反応していいかわかりませんでした

活動報告

2023年12月 『海外邦人支援活動ー渡米した子どもたちの心理的支援と課題』
心と社会54(4)(194)102-109

2024年 1月～ 世界各国のメンバーとの Online による World MTG(全5回開催)

2024年 6月 NL(No.30)発行



— With Kids は海外に住む子どもたちの心の健康をサポートする活動を行っています —

メール相談を受け付けています。ホームページ上の相談フォームからお申込みください。

- 相談は無料です
- 原則として、匿名またはペンネームでご相談ください
- 1つのご相談につき3往復までお受けします
- ご相談前に必ず、相談規約をご確認ください



■第30号 発行: 2024年6月1日 ■発行元/文責: With Kids 海外に住む子どもたちの心の健康をサポートする臨床心理士の会

■代表: 嶋崎 恵子 ■連絡先: soudan@withkids-kaigai.com